平成２５年度第１回企業倫理委員会　議事概要

１．日　時　　平成２５年6月7日（金）　１０：００～１１：３０

２．場　所　　中国電力株式会社　本社１号館１２階特別会議室

３．出席者

（委員長）	山下　　隆	会長
（副委員長・幹事）	松村　秀雄	常務取締役（ｺﾝﾌﾟﾗｲｱﾝｽ推進部門長）
（委　員）	今中　　亘	中國新聞社　特別顧問
	磯村　定夫	中国地域ニュービジネス協議会　常任顧問
	苅田　知英	社長
	白築　　透	中国電力労働組合執行委員長
（オブザーバー）	岩崎　恭久	常任監査役
（説明者）	藤井　弘昭	執行役員 ｺﾝﾌﾟﾗｲｱﾝｽ推進部門 ｺﾝﾌﾟﾗｲｱﾝｽ･ﾘｽｸ管理部長 兼．原子力強化プロジェクト専任部長

４．議事要旨

【委員長あいさつ】

原子力発電に関する国の新規制基準については，本年７月の施行に向け，条文化の作業等が進められおり，当社においても，これまで示された規制の案や議論の動き等を踏まえ，自主的に先取りして対応するなど，安全性向上のために様々な対策を実施してきている。

お客さまへ安定して電気をお届けし，現行の電気料金水準を維持していくためには，安全確保を前提とした島根原子力発電所の再稼動・運転開始が不可欠であり，当社としては，新基準を確実にクリアすることはもちろん，一層の安全対策に万全を期してまいる所存。

コンプライアンスの推進については，今年度の実施計画に基づき，順次，具体的な施策を進めているところ。今後実施する施策については，その目的や効果をしっかりと踏まえ，「不適切事案の再発防止」および「基本に忠実な業務遂行を徹底させる」といった観点からの工夫も加えながら，実効性を一層高めた取り組みとして進めてまいりたい。

【１．コンプライアンス推進の取り組み状況について】

島根原子力発電所点検不備に対する取り組み状況，コンプライアンス推進施策の主な実施内容について説明した後，議論を行った。

＜主な意見＞

〔島根原子力発電所点検不備に対する取り組み状況について〕

○　島根原子力発電所点検不備への対応は，計画どおり順調に進捗しており，不適合管理プロセスについては，必要な改善がなされており，適切に運用されている。安全文化醸成に向けた活動は，「終わりはない」との心構えで粘り強く取り組んでもらいたい。

○　発生した不適合Ａグレードの事象（防波壁設置工事において，請負会社社員が作業中に左足を負傷）については，前年も同様の事象が発生していることから，再発防止の徹底に向けてしっかり対応するとともに，今後，発電所の再稼動に向けた取り組みが進んでいく中，一層気を引き締めて業務に取り組んでもらいたい。

〔コンプライアンス推進施策の主な実施内容について〕

○　所属長の業務点検については，早期是正に力点が置かれ，中身についても実効性を高めるうえで適切な見直しが行われている。今後の点検結果や成果を注視し，実際に調査票の記載どおりにできているか，是正されているかを確認することも必要である。また，グループ企業へも展開し，グループ全体の底上げが図られるよう取り組んでほしい。

○　保安推進委員会の報告に関して，ヒューマンエラーに起因する停電や災害が多く発生していることから，今後は，事故の未然防止に向けて立ち上げた会議の検討結果について水平展開を図り，大事故に発展する危険性があることを十分踏まえ，再発防止に努めてもらいたい。

【２．内部通報制度の運用状況について】

平成２５年２月～４月における内部通報制度の運用状況について説明した後，議論を行った。

＜主な意見＞

○　通報件数が増加しており，内容も多種多様であること，また，件数の多くが顕名による通報ということもあり，内部通報制度が社員に定着してきているものと受けとめる。

以　上

（添付資料）

資　料　「コンプライアンス推進の取り組み状況について」